

■ つまづきが予想される問題(1)

大問10(2)(目標値40%)

【ねらい】対話の流れに合った英文を書くことができる。

【問題例】電話でのやり取り

A: Did you do your homework?

B: Yes, I did.

A: ()?

B: I'm watching a movie now.

【正答例】

What are you doing (now) ?

【誤答としての予想】

◆What are you watching?

(前年度同様の問題の誤答率:81.2%)

◆無解答

(前年度同様の問題の無解答率:32.2%)

◆ 指導のポイント

○単に英文1文の意味を理解するのではなく、その文が使われる場面や状況を意識して、話の流れ全体を理解することができるようにする。

○書く活動だけではなく、相手の意見・考えなどを聞いたリ、集めた情報を読んだりした上で、書くことの活動につなげるといった、技能統合型の言語活動を充実させる。

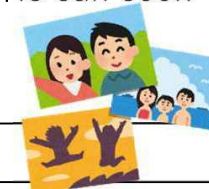
★ 指導の具体例

参考:平成31年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

文が使われる場面や状況を意識して話の流れ全体を理解する活動(例)

○教科書の素材文など、これまでに習った対話文の一部を空欄にし、そこに入る内容を考える。

A: Look at this picture of my family.
This is my favorite picture.
B: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.
B: I see. [1]
A: She is a teacher.



[1]に入る英文を考えさせる際のポイント

- ・話の流れ全体を理解させる。
- ・なぜそう思うのか、理由も含めて考えさせる。

A: Do you have any other questions about them?
B [2]

さらに1文を加え、会話を継続・発展させるためのやり取りを行う。

複数の領域を効果的に関連付けた統合型の言語活動(例)

○友達からの電子メールに対して、自分の回答を返信する。

Hi. This is Kazuma. Are you free this Saturday afternoon? I'm going to have Hisashi's birthday party. He'd also like you to come. Please email me if you can come. Thanks.



Hi, Kazuma,
Thank you for telling me about Hisashi's birthday.
〈誕生日パーティーに行けるかどうか〉
〈行ける→開始時刻や場所など質問／行けない→理由〉
See you later.

返信を書く指導をする際のポイント

- ・電子メールを読ませたのち、内容をQAで確認する。
- ・返信する必要がある事柄を考えさせる。
- ・依頼に応じる／断る英語表現などを確認する。
- ・生徒の習熟の状況に応じて、左のような返信のひな型を示す。

つまづきが予想される問題(2)

大問8(4)(目標値30%)

【ねらい】読み取った内容をふまえて、英文を完成させることができる。

【内容】メールの返信

日本に滞在中の中学生のTomから、母国に住む両親へのメール
From: Tom
To: My mother and father
Hello. How are you? It's Tom.
I'm enjoying my stay in Japan. My Japanese friends are very kind.
I'm attaching three pictures to this e-mail.
Look at the first picture.
Yesterday, my friend took it for me. I'm on the soccer team.(以下省略)

両親からTomへの返事
Hi, Tom.
Thank you for your e-mail and nice pictures.
You are a good soccer player.
You are very cool!
(途中省略)
Please () your stay in Japan.
Mother and Father

【正答例】

enjoy

【誤答としての予想】

enjoying

(前年度同様の問題の誤答率:81.9%)

◆ 指導のポイント

○基本的な語彙の習得や、場面や状況に応じた応答の仕方について、教師と生徒、生徒同士のやり取りを日常化し、時には表現した内容を書かせる。

○読んだ内容について、得た情報や自分の考え・気持ちなどを正しく伝えるために、正確に文を書く力を身に付けさせる。

★ 指導の具体例

参考:平成31年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

日常的なやり取りの中で語彙の習得や応答の仕方を学ぶ活動(例)

○教師と生徒のインタラクションにおいて、教師が会話を継続させるモデルを示すとともに、既習事項を使って生徒の語彙を定着させる。

T: This is my dog, Pochi. (写真を見せる)
I like walking with my dog in my free time. It's a lot of fun. Do you like dogs, Yui?
C: Yes. I like dog.
T: Oh, you like dogs, too. What' the name?
C: Hachi. He like ball.
T: Oh, Hachi likes a ball!
C: Yes. He likes a tennis ball.
T: Now class, do you have any questions about his dog?



インタラクションを行う際のポイント

- 自然な会話になるよう、まずは教師自身のことを語る。
- 既習の三単現など、やり取りを妨げない程度に強調する。
- 他の生徒に質問を促し、他の生徒がやり取りに耳を傾けるようにする。

情報を正しく伝える力をつける活動(例)

○話したり聞いたりしたことを書いてまとめ、チェックリストを作成しながらペアで内容を修正して、正確性を高める。

上のT⇔Cのやり取りを受けて、分かったことをノートに書いてまとめる。
My teacher likes dogs.
He likes walking with ~~my~~ his dogs.
Yui likes dogs, ~~to~~ too.
His name is Hachi.
He likes s a tennis ball.



Check List

- 主語がIとyou以外の単数の時の動詞→三単現のs
- 犬が好き→dogs
- つづり間違え

チェックリストを活用する際のポイント

- どのような点に留意するのか、意見を出し合いながらチェックリストを作成する。
- 継続的に指導を行い、チェックリストを蓄積するなどして誤りのある英文を自己修正する力を身に付けさせる。